

巻頭言

全国壮年会連合会長 高良 研一（恵泉教会）

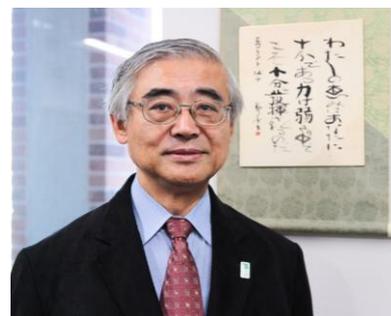
全国の諸教会・伝道所の皆様には、全国壮年会連合が伝道者養成と教会形成を担うというヴィジョンを掲げて、下記の5つの働き、①連盟と共なる神学校献金の推進活動 ②連盟から委託された奨学金制度の運営 ③献身者の掘り起こし ④バプテスト信徒としての学び ⑤教会形成のための協力伝道の推進のために、覚えてお祈りいただき感謝いたします。

しかしながら、現在の一番の喫緊の課題は、今年度、西南学院大学神学部神学科への入学者は1名で、リカレント生を含め、合計7名、東京バプテスト神学校専攻科入学者はゼロで、専攻科生は、合計4名、九州バプテスト神学校専攻科へ6名入学し、専攻科生は合計8名となり、全般的に神学生が少ない状況です。皆様の教会・伝道所におかれましては、これらの神学校で学ぶ献身者が新たに起こされますように切にお祈り願います。そして、これらの神学生の学びと研修のために、そして、各神学校の教師、役員・スタッフの方々のためにご加祈願います。

神学校献金に関する大きな変化として、これまで連盟から支給されていた、東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校への運営資金の援助金の年間総額 350 万円ですが、昨年の全国壮年会連合の定期総会で承認されましたので、今年度より神学校献金の中から、両神学校への運営資金の援助として、年間総額 350 万円を提供することになりました。つきましては、各教会・伝道所におかれましては、各神学校を覚えていただき、教会を上げての神学校献金活動に期待しておりますので、よろしくお祈り願います。

全国壮年会連合の今年度の活動計画案として、協力伝道派遣チーム（伝道隊）を結成して、各当該連合（壮年会）と協力しながら、福井教会を初め、必要とされている教会・伝道所へシリーズで派遣することを実現するべくお祈りいただけましたら幸いです。また、希望的には、宣教研究所との協力により、バプテスト信徒の学びの推進のため、全国壮年会連合主催のシリーズ化した全国研修会を開催出来たらと考えております。

そして、今後の課題として、性別や既婚・未婚等の属性によらないメンバーの方々と共に、伝道者養成と教会形成を担うというヴィジョンの元に、全国の諸教会・伝道所の皆さんと共に、推進していけるように願っております。



献身の証

九州バプテスト神学校専攻科1年次
天野正道（あまのまさみち）（天草中央教会）

このたび、九州バプテスト神学校での本科の学びを経て、専攻科に進級することになりました。このように導いてくださった神様に心から感謝を捧げます。私は高校を卒業してから大阪で働き、その後、神の召しを受けて仕事を辞め、牧師になるための歩みを始めました。今、教会に住み込みで学び、日々の奉仕や礼拝、祈りを通して、神さまとの関係が深められていることを感じています。最初は、自分に牧師が務まるのだろうかという不安もありました。人前で話すことも得意ではなく、リーダーシップの経験もほとんどありませんでした。しかし、聖書を学び、祈り、仲間と語り合う中で、私の小さな献身が神の大きなご計画の中で用いられるのだと気づかされました。本科では、神学の基礎や教会の歴史を学びましたが、それ以上に「人の痛みに寄り添うとはどういうことか」「教会とは何か」という問いに向き合うことが多かったように思います。教会は建物ではなく、そこに集う一人ひとりの信仰の群れであり、私たちが互いに仕え合う場です。そのことを学ぶたびに、自分自身がどう生きるべきかを問われてきました。専攻科では、より実践的な学びが始まります。説教や礼拝の奉仕、地域との関わり、そして教会の運営に携わることもあるでしょう。まだまだ力不足を感じることも多いですが、「わたしの恵みはあなたに十分である」という御言葉を心に刻み、一歩ずつ前進していきたいと思っています。私のような者が神に召され、学びの道を歩めているのは、何より祈って支えてくださっている多くの方々のおかげです。全国の壮年会の皆さまのお祈りと励ましにも、深く感謝しております。これからも、謙虚に、誠実に、主の御心を求めながら歩んでまいります。どうぞお祈りください。



「第60回全国壮年大会 in きたかん 開催のご案内」

実行委員長 戸田浩司（西川口教会）

主の恵みのうちに新年度を迎えることができました。皆様いかがお過ごしでしょうか。8月に開催する「第60回全国壮年大会 in きたかん」についてご案内をいたします。

今回は対面とオンラインでのハイブリッド形式で開催しますので、参加可能な方法をお選びいただけます。

大会のテーマを「これからの No Border な教会の話をしよう! ~教会が「教会」であり続けるために~」としました。私たちは性別や国籍、宗教、社会的立場など様々なボーダーを意識する局面が多々あり、時にそれらのボーダーにとらわれ、不自由な思考、行動に陥ってしまうこともあるのではないのでしょうか。

イエス様は当時の宗教的、社会的なボーダーを越境し、悩み苦しんでいる多くの人々に救いの手を差し伸べられました。



現代におけるボーダーについてともに考え、分かち合ってみませんか。大会の詳細は以下のとおりです。

テーマ：これからの No Border な教会の話をしよう! ~教会が「教会」であり続けるために~

講師：朴思郁 宣教研究所所長・西川口教会牧師

日時：2025年8月22日（金）12:30 ~ 8月23日（土）12:00（予定）

会場：日本バプテスト浦和キリスト教会（さいたま市）

※オンラインによる参加も可能です

主なプログラム（予定）：

開会礼拝

主題講演

分団形式での分かち合い

神学校の時間

愛燦会

北関東地方連合教会の各地域に根ざした活動事例紹介

全国壮年会連合総会報告、アピール等

閉会礼拝

参加費：会場参加 2,000円 オンライン参加 1,000円（宿泊費は含まず。部分参加でも同額）

※8月22日（金）夕の愛餐会費は1,500円

申込締め切り：大会参加及び「全国壮年会連合総会 代議員登録」は6月13日（金）まで

※全国壮年会連合の文書総会は8月21日（木）開催

お問合せ先 todaykouji81@gmail.com 実行委員長・戸田まで

また大会案内ポスターを同封しておりますので併せてご覧ください。QRコードから参加申込が可能です。

パスワードは noborder60（半角です）

どうぞ奮ってご参加ください。皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

「全国壮年会連合 役員会報告と全国信徒へのお願い」

全国壮年会連合 事務局長 稲川 仁 (宝塚教会)

2025年4月12日、第1回全国壮年会連合役員会が連盟事務所とZoomを併用して開催され、現役員としての2年目をスタートしました。将来を見据えた重要な議題が話し合われ、具体的な歩みが確認されました。役員会では、以下の事項が議論されました。



【役員会 議案等】*****

〈報告事項〉

- ① 2024年度 決算報告(一般会計・奨学金会計)
- ② 2024年度 監査報告
- ③ 副会長人事について

〈協議事項〉

- ① 2026年度の神学校献金の目標額について
- ② 7/12 神学校献金推進委員会議の意義
- ③ 今後の(5~10年後)の方向性案
- ④ 総会の開催方法
- ⑤ 今後(2027年~)の大会の在り方について
- ⑥ 次期役員候補の選定
- ⑦ 協力伝道派遣チームの具体的な計画について
- ⑧ 研修会について
- ⑨ ジェンダーレスの意義について

〈その他〉

- ① ホームページの改善について
- ② 各種発行物の確認
- ③ 代表者会議(6/14対面)の準備
- ④ 神学校週間の取り組み
- ⑤ 神学校献金額について
- ⑥ 2025年度第60回全国壮年大会(北関東)の準備状況
- ⑦ 2026年度第61回全国壮年大会(関西 in 福岡)の準備状況



2025年4月12日(土) 10:30~15:00 第1回 役員会

【全国信徒へのお願い】*****

〈今後の代表者会議・神学校献金推進委員会の新たな参加体制について〉

全国壮年会連合では、代表者会議や神学校献金推進委員会の参加体制を見直し、地方連合壮年会の会長や神学校献金推進委員に加え、オブザーバーとして複数名の参加をお願いすることとしました。この新たな参加体制によって、全国信徒の皆様が連盟や壮年会の活動をより身近に感じ、連携の意識を深めていただけることを願っています。

全国壮年会連合としては、この取り組みが信徒一人ひとりのご理解と協力を促し、全国の教会を力強く支えるきっかけとなることを期待しています。皆様それぞれの知見や経験が活動のさらなる推進力となることは間違いありません。全国信徒の皆様と共に歩むことこそが、私たちの今後を形作る力です。

これからも活動内容を報告し、透明性を保ちながら信徒の皆様との対話を大切にしていまいります。皆様からの温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

規約細則第6条の定め（60日以上前）により表題の件を通知いたします。

公 告 2025年度壮年会連合に総会にかかわる件

- 総会日時：2025年8月21日（木）
総会は文書による総会とし、投票結果の開票日を総会日とする。
- 開催場所：日本バプテスト連盟事務所
- 議案：全国壮年会連合ニュース第137号（6月下旬頃予定）でお知らせします。

- 代議員登録（規約細則第4条、第7条による）
※ 派遣代議員：各教会・伝道所3名まで登録可能
登録締切日：6月13日（木）
※規約細則9条により壮年会等は議案を提出できます。6月13日（金）までに役員会 sonen@bapren.jpに提出下さい。

「大会参加」及び「全国壮年連合総会代議員登録」は6月13日(金)迄。こちらのQRコードより登録が可能です→
※パスワードはnoborder60です。



きたかんポータル（登録画面）へのリンクは以下の通りです。

<https://church-church.com/the-60th-all-japan-mens-conference-in-kitakan/>

公 示 2025年度総会において以下の通り選挙を行います。

<立候補対象>

- 2026・27年度 日本バプテスト連盟全国壮年会連合 会長、副会長 各1名および監査2名
「全国壮年会連合 規約」第7条および「同 規約細則第21条」による。

会長立候補者は総会にて事務局長、書記、会計各1名を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。

<立候補対象>

- 2026・27年度 奨学金委員長 「全国壮年会奨学金規程」第5条2項による。

立候補者は総会にて4名の奨学金委員を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。

●立候補締切日：6月13日（木）

- 全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。届出の内容は、「立候補する役員名、氏名、所属教会、受浸年月日」を記載してください。様式は自由です。

<届出先> 〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4 日本バプテスト連盟全国壮年会連合気付 選挙管理委員長

注1) 選挙管理委員会は、立候補締切日に、候補者名を役員会に連絡し、役員会は議案書に名前を記して議案とします。

注2) 会長と監査が同一教会・伝道所から立候補があった場合、選挙管理委員会にて調整させていただきます。

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方へ

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方は「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金制度に関する規程」に基づき、下記の要領で申請いただくようお願いいたします。詳細は日本バプテスト連盟全国壮年会連合へお問い合わせください

《申請期限》 2026年度入学予定者・・・2025年10月1日（水）（必着）

《申請書類》

- ※ 申請書類及び関連規程は全国壮年会連合ホームページ

<http://www.sonen.net> の「ドキュメント」ページからダウンロードして下さい。

- ※ なお、本様式は西南学院大学に提出する書類とは異なり、本奨学金貸与申請専用の様式です。お間違いないようご注意ください

《問合せ・資料等請求先》

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和1-2-4 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

Tel/Fax:(048)886-7533（月・水・金 10:00～16:00）sonen@bapren.jp

申請書類	入学予定者
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金願書	○
◇奨学金申請に関する推薦教会の推薦決議書	○
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金申請用履歴書	○
◇召命・献身決意書（神学部提出のコピーは不可）	○

全国壮年会連合 会長：高良 研一（恵泉）、副会長：星 文也（赤塚）、事務局長：稲川 仁（宝塚）

書記：木村 均（大井）、会計：高井 透（高崎）

監査：堤 秀幸（福岡西部）、大城戸 一彦（所沢）

同奨学金委員会 委員長：北村 慎二（宝塚）、総務：浦瀬 佑司（札幌）、渉外：古田 晴彦（宝塚）

返還：鶴澤 寛（鳥栖）、総務（副）渉外（副）：向井田洋（仙台）

連盟担当理事：杉山いずみ（徳島）、神学部長：日原広志（福岡有田）

事務局 飯野 實（宮原）

神学校献金・会費 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

